

〔令和4年度日本赤十字社鳥取県支部活動資金について〕

令和4年度も県民の皆様をはじめ多くの皆様から寄付を頂戴し、本当にありがとうございました。



日本赤十字社と赤十字活動

日本赤十字社法という法律に基づいて設置された認可法人として事業を実施しておりますがその中立性と独立性が強く求められていることから税金等の公的資金や国や県等からの補助金ではなく、個人・法人等の皆様からお寄せいただいた社資（活動資金）をもとに活動を展開させていただいております。
災害発生時に寄せられる義援金は都道府県を通じて被災された方に届けられることになっており、日赤の活動には一切使用することはありません。

令和4年度社資（活動資金）収入額 92,728,694 円

【内訳】

- ・一般の方から 80,778,422 円（この中には県内での赤十字活動に使用できない金額も含まれています）
- ・法人（団体）の方から 11,950,272 円

このほかに、日本赤十字社本社から事業の取組み状況に応じた交付金 9,208,371 円や海外救援金受入れにかかる繰入金 2,446,000 円、繰越金 57,062,797 円ほかがあり令和4年度歳入の総額としては 163,466,471 円になりました。

〔活動資金の主な使い道について〕

国内の災害対応のために【令和4年度：9,101,982 円】

あらゆる状況下でも確実に活動できる災害救護体制の整備のため、内閣府や鳥取県ほかが主催する訓練へ参加、研修を実施しました。

（計17回）

特に、令和4年度は南海トラフ地震発生時でのカウンターパート制に基づく支援先である日赤徳島県支部と合同で令和5年2月に実地研修を行い、当支部からの支援体制、現地の地理環境を確認しました。

また、炎天下での野外の避難所等での救護活動でも使用できる簡易型のクーラーほか資機材を整備させていただきました。

県内で火事などの災害に遭われた住民の方に対しても、毛布や緊急セット（日用品）などのお見舞い品を迅速にお届けしました。



（政府の訓練：鳥取砂丘コナン空港）

地域ボランティア（赤十字奉仕団）活動支援のために【令和4年度：5,351,357 円】

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症下で行うことができなかった炊き出し研修を3年ぶりに行ったほか明治安田生命鳥取支社様と連携して「地域」と「未来世代」を応援する取組を開始しました。

また地域で災害が発生した時に、迅速に支援活動を行うための研修会等を行い計397名の赤十字奉仕団員が参加し研鑽を積みました。



（災害に備えた炊き出し研修）



（県の訓練：湯梨浜町）



（南海トラフ地震に備えた徳島県支部との合同研修）

「守る」を広める活動のために【令和4年度：5,804,854 円】

心肺蘇生とAEDの使い方を学んでいただける救急法をはじめ、一般の方でもできる4種類の講習普及事業を展開しました。特にAEDを使った1時間程度の短い時間の講習は、**地域住民（自治会・町内会）の皆さまや職域、学域単位で新型コロナウイルス感染症への対策を徹底のうえ、数多く実施させていただきました。**

（回数133回：人数3,666人）

また、新型コロナウイルス感染症のため、自治会・町内会様の判断により実施が難しかった赤十字防災セミナーも徐々にではありますが回復基調であり、令和4年度は令和3年度に比べ5回多い16回、人数にして267人多い483人の方に受講していただきました。また、講習普及の指導者人材として赤十字救急法指導者を2人養成し、講習会実施依頼に対して、より機動的に対応できるよう体制を強化しました。



（赤十字救急法短期講習）

このほかにも以下のような事業にも使わせていただきました。

次代を担う青少年の生きる力を育むための宿泊研修の開催や指導者を養成するための研修の実施、創設100周年を記念した絵画コンクールの実施、寄せ書き旗の製作といった事業等（青少年赤十字活動費・社会福祉活動費：322,507 円）、若年層への献血思想の普及啓発（血液事業費：46,181 円）、水害に見舞われる国々へ水を綺麗にする浄化装置を整備する事業等への協力（国際活動費：2,980,579 円）、用途を指定した災害救護費用ほかのための事業（指定事業地方振興費 5,246,000 円）も実施しました。この事業では、株式会社バルコス（本社：倉吉市）様の全面協力を得て、阪神大震災時から30年あまり使用してきた救護用携行鞆の更新に一部充てさせていただきました。

また、この他に赤十字事務を担当くださっている地区区分への交付金支出（地区区分交付金支出：9,106,609 円）、赤十字病院への寄付にかかる繰出（基盤整備交付金・補助金支出：2,000,000 円）、災害発生時への準備ほかとして（積立金支出：18,606,790 円）、事務局内の管理経費として（総務管理費・資産管理費：26,221,194 円）、社資収入に応じた本社への送納（本社送納金支出：13,032,404 円）、赤十字活動への理解をさらに深めていただくため県内全戸に広報誌（年1回）を配布させていただいたほか、赤十字活動を身近に感じてもらうため、様々な団体が開催する行事等にも参加した活動（社業振興費：15,206,411 円）もさせていただきます。歳出の総額は 113,026,868 円となりました。

〔日赤の諸活動をお住まいでの地域で〕

赤十字活動は災害時の救護活動など人命に直接かわる活動が中心になっていきますので、1日たりとも活動の推進を緩めるわけにはいきません。いつどこで発生するかわからない災害発生時への備えとして、特に町内会（自治会）の皆様向けに防災セミナーや救急法をご紹介しており年々活用される町内会様が増えております。いままで日赤が救護活動で培ったノウハウから緊急時に役立つ搬送方法やケガの手当といった実際にやっていただく体験や、避難所での生活などの知識の伝達ほか様々な内容を時間に応じて組み合わせ準備しております。ぜひ、赤十字活動を知っていただくためにも地域での取組みにご活用くださるようお願いいたします。



（新しく更新した救護用鞆）



（JRC 創設 100 周年寄せ書き旗）